



Ⅲ 平城宮跡等の調査概要

表16 2006・2007年度 都城発掘調査部（平城地区） 発掘調査一覧

調査次数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2006年度)								
406次	6AAE-M・N・6AAF-K・L	平城宮東方官衙地区	2006.12.20～2007.5.11	1296㎡	奈良市佐紀町	栗野 隆	学術調査	114
418次	6AED-G	興福寺旧境内	2007.2.5～3.12	121.2㎡	奈良市中筋町	西口壽生	建物建設	142
419次	6BFK-H	法華寺旧境内	2007.3.8～3.16	58.1㎡	奈良市法華寺町	次山 淳	住宅建設	144
(2007年度)								
420次	6AFE-L	平城京左京二条三坊六坪	2007.7.26～8.23	89.4㎡	奈良市法華寺町	森川 実	建物建設	156
421次	6ALE-D	平城宮東院地区	2007.4.2～10.10	1560㎡	奈良市法華寺町	金井 健 山本 崇	学術調査	125
422次	6BSD-P	西大寺薬師金堂	2007.4.16～6.15	94.5㎡	奈良市西大寺小坊町	林 正憲	建物建設	148
423次	6ALR-F・G	平城宮東院地区	2007.9.25～2008.3.3	1379㎡	奈良市法華寺町	浅野啓介	学術調査	133
424次	6BGN-B・C	旧大乘院庭園	2007.9.10～9.19	27.8㎡	奈良市高畑町	城倉正祥	史跡整備	154
425次	6BFO-C・6BKA-C	法華寺旧境内	2007.8.31～9.7	12㎡	奈良市法華寺町	深澤芳樹	倉庫建設	112
426次	6BFO-D	法華寺旧境内	2007.10.2～10.10	12㎡	奈良市法華寺町	西口壽生	住宅建設	147
427次	6ADA-A	平城宮馬寮北方	2007.10.15～10.22	8㎡	奈良市佐紀町	栗野 隆	住宅建設	112
428次	6AGF-R	平城京右京三条一坊九坪	2007.10.22～11.9	80㎡	奈良市佐紀町	和田一之輔	住宅建設	158
429次	6AAF-J・K・6AAG-I	平城宮東方官衙地区	2008.1.11～5.7	1344㎡	奈良市佐紀町	今井晃樹	学術調査	123
430次	6BFO-C	法華寺旧境内	2008.1.7～1.25	60㎡	奈良市法華寺町	大林 潤	住宅建設	112
433次	6BKK-N	喜光寺境内	2008.2.18～3.12	204㎡	奈良市菅原町	加藤雅士	南門復元	112

表17 2007年度 都城発掘調査部（平城地区） 小規模調査の概要

調査次数	遺 跡	調査の概要
425次	法華寺旧境内	建物新築にともなう調査。現地表面から40～60cm下で、橙色砂礫層（地山）を検出し、この上面で遺構検出を実施した。おもな遺構は、南北掘立柱塀1条と東西溝1条で、東西溝からは近世以降の陶器が出土した。南北塀と東西溝は、溝幅が南北塀部分で狭まり、かつ柱穴の間に位置するので、併存期間があると推定する。
427次	平城宮馬寮北方	住宅建設にともなう事前調査。東西2m、南北4mの調査区を設定した。調査区北端で標高71.3m、南端では70.9m付近で遺構面に達する。調査では中世の土坑（2基）とその土坑よりも古い自然流路を検出したが、平城宮にかかわる遺構は確認することができなかった。
430次	法華寺旧境内	集合住宅建設にともなう事前調査。調査区は南北8.5m、東西11m。地表下約30cmで遺構面に達する。柱根や礎盤石を残す掘立柱建物2棟の他、柱穴4基、土坑1基を検出した。土坑の埋土には多量の遺物が含まれ、土師器、施釉陶器、金属製品、緑釉瓦などが出土した。
433次	喜光寺境内	南門復元工事にともなう調査。南北13.7m、東西15mの調査区で、1969年の調査で南門跡とされた場所に北接する。調査区の北辺では現地地表下約45cmで近世とみられる達磨窯1基と、それに関連する廃棄土坑を検出。南は水田による削平をうけており、明瞭な遺構を確認できなかった。

表18 2007年度 都城発掘調査部（平城地区） 現場班編成 ※総担当者

	考古第一	考古第二	考古第三	遺 構	史 料
春	小池伸彦		林 正憲	※金井 健	馬場 基
夏	城倉正祥	森川 実	深澤芳樹	島田敏男	※山本 崇
秋	和田一之輔	西口壽生		栗野 隆	※浅野啓介
冬	城倉正祥（研修）	加藤雅士	※今井晃樹	大林 潤	渡邊晃宏
総括：部長 山崎信二				写真担当：牛嶋 茂、中村一郎	